

GSX-R1000/R R-11Sq ステンレスレーシングサイクロン 取扱説明書



このマフラーはクローズドコース走行専用部品となっております。
一般公道での使用は絶対に行わないで下さい。

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

▲危険

怠ると怪けにつながる注意事項を示してあります。

▲注意

怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。

参考

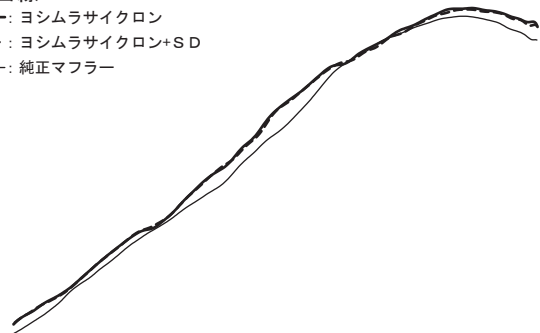
スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

車名	SUZUKI GSX-R1000/R '17-'22		
サイクロン型式	S50AS1QC1		
素材	ステンレス / チタン / カーボン		
品番	ステンレスサイレンサー	:	150-50A-C15G2
	メタルマジックサイレンサー	:	150-50A-C12G2
	チタンサイレンサー	:	150-50A-C18G2
	チタンブルーサイレンサー	:	150-50A-C16G2
音量	サウンドディフューザー無し	109dB / 6,000rpm	
	サウンドディフューザー有り	105dB / 6,000rpm	
重量	純正マフラー	:	10.8kg
	ステンレスサイレンサー	:	7.0kg
	メタルマジックサイレンサー	:	7.0kg
	チタンサイレンサー	:	6.8kg
	チタンブルーサイレンサー	:	6.8kg

ps 性能曲線

— : ヨシムラサイクロン
- - - : ヨシムラサイクロン+SD
— : 純正マフラー

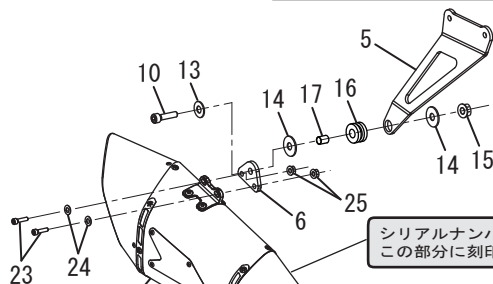
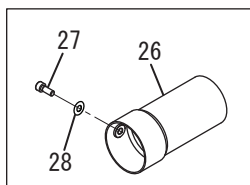


GSX-R1000 (17)

rpm

2. セット内容

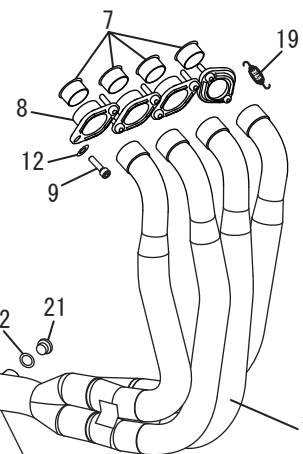
触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
無	可能	可能※手順22参照	無	純正品	無※手順21参照	可能



シリアルナンバーは、この部分に刻印されています。



本製品の取り付けには、別途純正ガスケットが必要になります。必ず新品を用意して下さい。



ロットナンバー/サイクロン型式は、この部分にレーザーマーキングされています。

- ・本商品は純正ECUをヨシムラレーシングECUセットに交換していただくことを前提としております。
純正ECUをご利用になる場合は、オプションの排気バタフライキャンセルセット(品番:194-519-0011)及び、02センサー延長ハーネス(品番:406-50A-0000)を別途お買い求め下さい。

- ・サイレンサー内部のウール量を管理する為、取り付け前にサイレンサー単体の重さを測定し、測定値を背表紙に記録して下さい。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	ヘッダーASSY	1	151-50A-C100	14	平ワッシャM8×26	6	812-108-2600
2	テールパイプ	1	155-50A-C100	15	フランジナットM8	3	823-008-1250
3	サイレンサー (ステンレスカバー)	1	156-50A-A15G1	16	グロメットラバー	2	553-565-0000
	サイレンサー (メタルマジックカバー)		156-50A-A12G1	17	グロメットカラー	2	850-208-1212
	サイレンサー (チタンカバー)		156-50A-A18G1	18	段付きカラー 8-30-18	1	850-008-30A2
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		156-50A-A16G1	19	マフラススプリング (フローティング)	8	118-001-0000
4	テール別体ステー	1	161-50A-0220	20	マフラススプリング (固定)	4	118-001-2000
5	サイレンサーステー#1	1	161-50A-0200	21	プラグ	1	862-118-1500
6	サイレンサーステー#2	1	161-50A-0210	22	銅ワッシャ	1	812-318-0000
7	口金ジョイント	4	142-045-3310	23	ボタンボルトM6×20	2	803-206-4020
8	口金フランジ	4	117-042-0100	24	SUSワッシャM6×13	2	812-206-1310
9	穴あきキャップボルトM8×25	8	800-208-5S25	25	フランジナットM6	2	823-006-1000
10	キャップボルトM8×30	2	800-208-5030	26	SD#136	1	138-138-45D6
11	キャップボルトM8×35	1	800-208-5035	27	キャップボルトM6×8ネジロック付き	1	800-806-4008
12	キャップボルト用サラバネM8	8	811-108-0000	28	キャップボルト用サラバネM6	1	811-106-0000
13	平ワッシャM8×20	1	812-108-2000				

3. 取付方法

⚠注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。
※純正部品の取り外し、取り付けは、メーカー発行のサービスマニュアルを参照して下さい。
※外した純正部品は、大切に保管して下さい。

1. セット内容を確認して下さい。

2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、フレーム・スイングアームを損傷しないように注意しながら純正サイレンサーを取り外して下さい。

3. サービスマニュアルを参照し、ラジエーターを止めているボルトを外してラジエーターをずらしてから純正ヘッダーを取り外して下さい。

⚠注意 純正ヘッダーを外す際は、ラジエーターコアを破損しないよう充分注意して作業を行って下さい。

4. ECUをヨシムラ製レーシングECUセットに付け替えて下さい。
純正ECUを使用する場合は、オプションの排気バタフライキャンセルステーを取り付けて下さい。
取り付けの詳細は、排気バタフライキャンセルステーの取扱説明書を参照して下さい。

参考 過度なトラクションコントロールの設定は、マフラーや他の部品に悪影響を及ぼす可能性がありますのでご注意下さい。
ECU交換手順や、ECU交換に関連して別途必要となる部品についての詳細はレーシングECUセットの取扱説明書をご参照下さい。

⚠注意 純正ECUを使用する場合、排気バルブワイヤーが外されたままイグニッションONにすると、エキゾーストバルブアクチュエーター (EXCVA) が空回りして破損する恐れがあります。
排気バタフライキャンセルステーの取り付けを終えるまでは、絶対にイグニッションONにしないで下さい。

5. 左右のタンデムステップを取り外し、⑤サイレンサーステー#1に⑯グロメットラバー、⑰グロメットカラーを取り付けてから純正ボルトを使用して車体に規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 1参照)

⚠注意 規定トルク サイレンサーステー#1 : 23 Nm

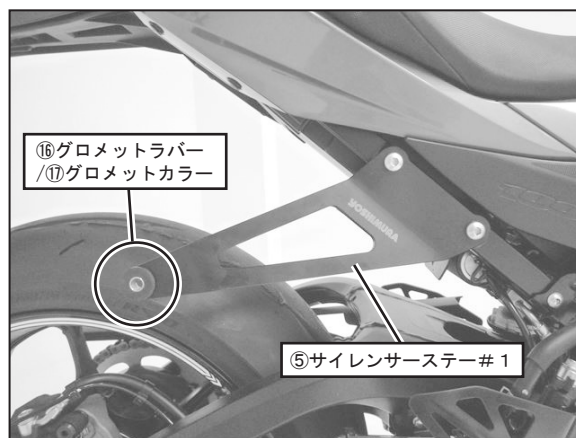


FIG. 1

6. 純正エキゾーストガasketを新品に交換し、⑦口金ジョイントに⑧口金フランジをはめ込み、⑨キャップボルト (穴開き) M8 × 25、⑫キャップボルト用サラバネM8を使用して排気ポート部に仮締めして下さい。(FIG. 2参照)

⚠注意 エキゾーストガasketは必ずメーカー純正品を使用して下さい。

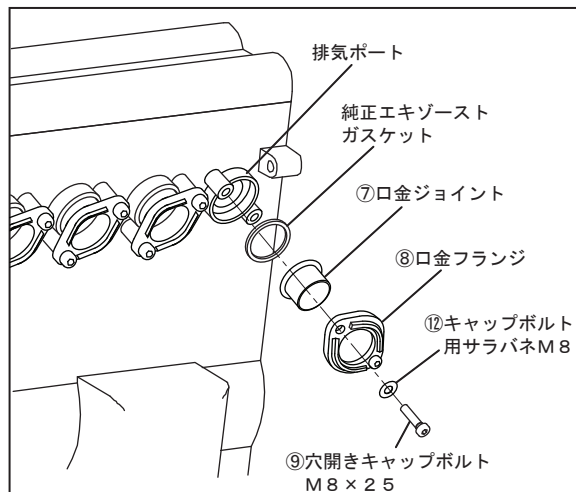


FIG. 2

7. ①ヘッダーASSYを手順6で取り付けした⑦口金ジョイントに奥までしっかり差し込み、排気漏れがないように、フランジ部のボルトを規定トルクで均等に締め付けます。次に、⑨穴あきキャップボルトM8×25と①ヘッダーASSYに⑱マフラスプリング(フローティング)を取り付けて下さい。(FIG. 3, 4参照)

参考 ヘッダーASSYを差し込んだ後、プラスチックハンマー等でヘッダーASSYの下部を軽く叩き、オイルパンとの隙間を均等にして下さい。

注意 規定トルク ヘッダーASSY : 15 Nm

注意 ヘッダーASSYを取り付ける際は、ラジエーターコアを破損しないよう充分注意して作業を行って下さい。

危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れないように充分注意して下さい。

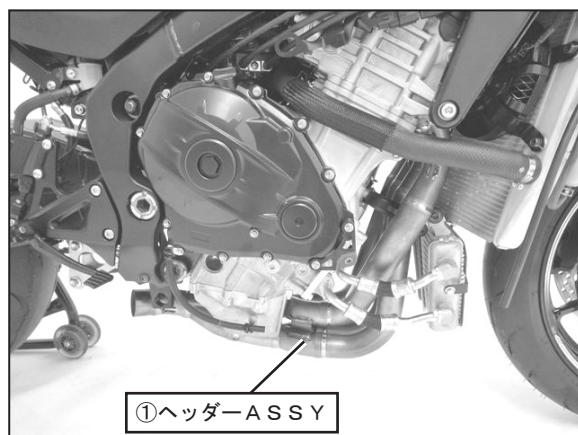


FIG. 3

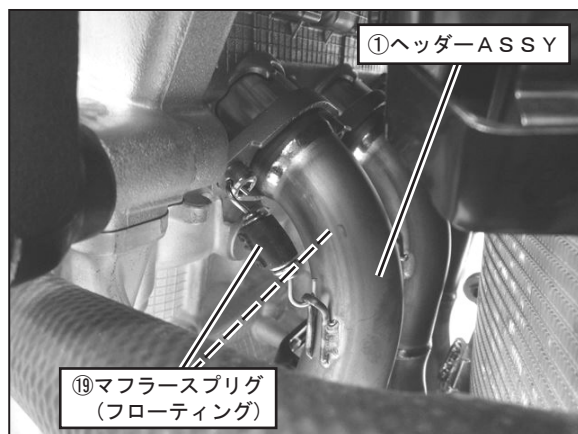


FIG. 4

8. ①ヘッダーASSYのセンサーボスに⑳プラグ、又は社外品A/Fセンサー(M18)を取り付けます。

A センサーを使用しない場合
センサーボスに㉒銅ワッシャ、㉑プラグを取り付けて下さい。

B 社外品A/Fセンサー(M18)を使用する場合
センサーボスにA/Fセンサーを取り付けて下さい。
(FIG. 5, 6参照)

注意 規定トルク プラグ : 4.5 Nm

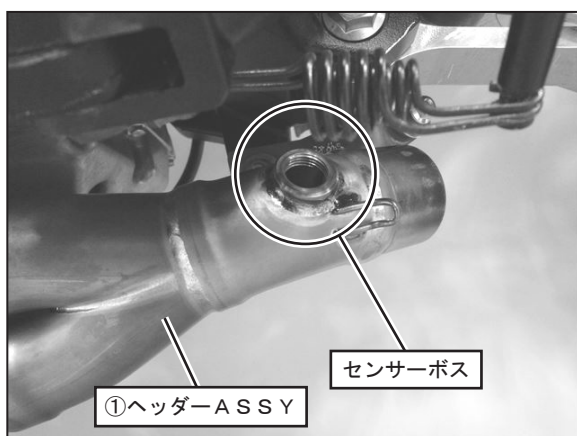


FIG. 5

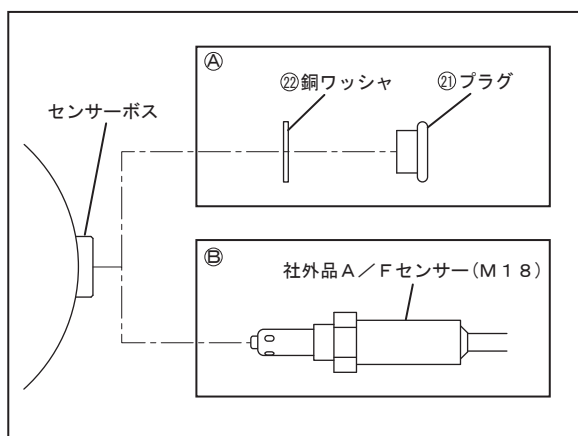


FIG. 6

9. 車両下側のマフラーブラケットからツバ付カラー、グロメットラバーを取り外して下さい。
(FIG. 7参照)

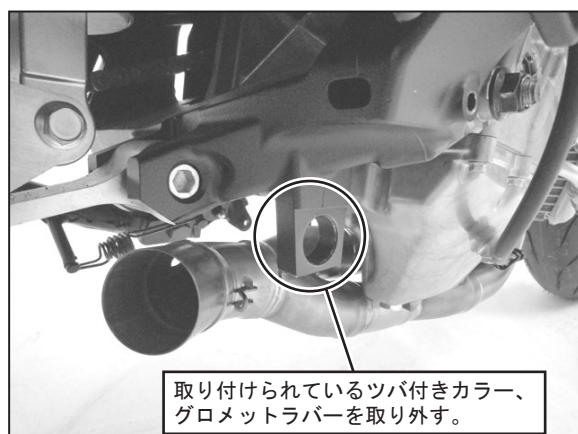


FIG. 7

10. ④テール別体ステーに⑯グロメットラバー、⑰グロメットカラーを取り付けてから⑪キャップボルトM8×35、⑭平ワッシャM8×26、⑱段付きカラー8-30-18、⑮フランジナットM8を使用して、車両下側のマフラーブラケットに規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 8, 9 参照)

⚠注意 規定トルク テール別体ステー : 23 Nm

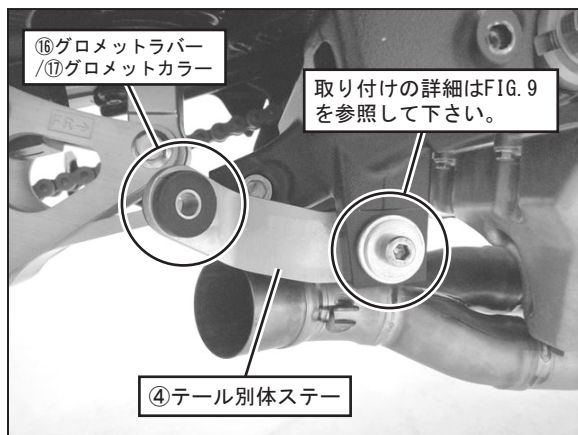


FIG. 8

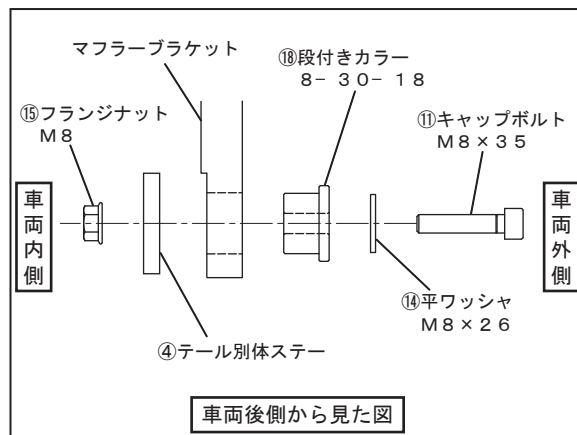


FIG. 9

11. ①ヘッダーASSYに②テールパイプを取り付けてから②テールパイプのステーを⑩キャップボルトM8×30、⑭平ワッシャM8×26、⑮フランジナットM8を使用して、④テール別体ステーに仮締めして下さい。(FIG. 10, 11 参照)

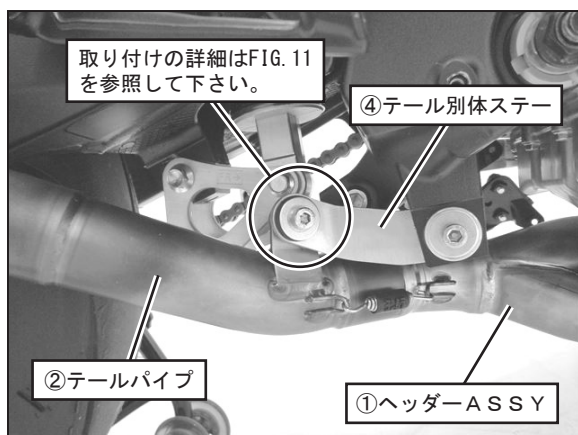


FIG. 10

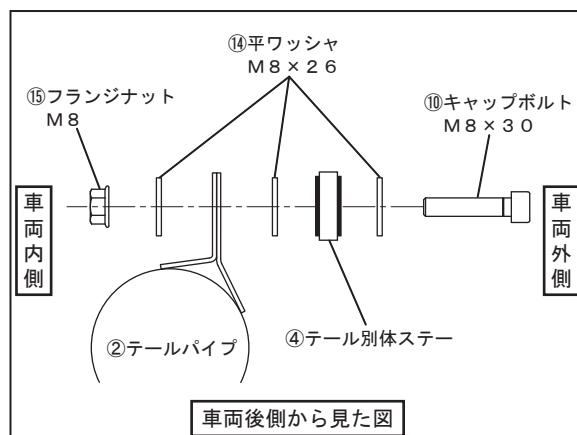


FIG. 11

12. ①ヘッダーASSYと②テールパイプに⑳マフラスpring (ミディアムフローティング)を取り付けて下さい。
(FIG. 12 参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れないように充分注意して下さい。

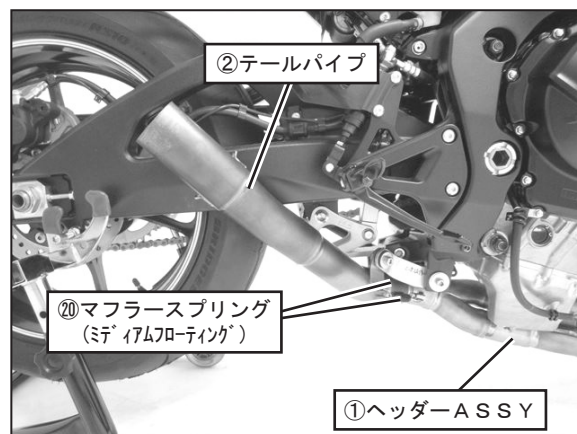


FIG. 12

- 1 3. ⑥サイレンサーステー# 2を②③ボタンボルトM6×20、
②④SUSワッシャM6×13、②⑤フランジナットM6を
使用して、③サイレンサーに仮締めして下さい。
(FIG. 13参照)

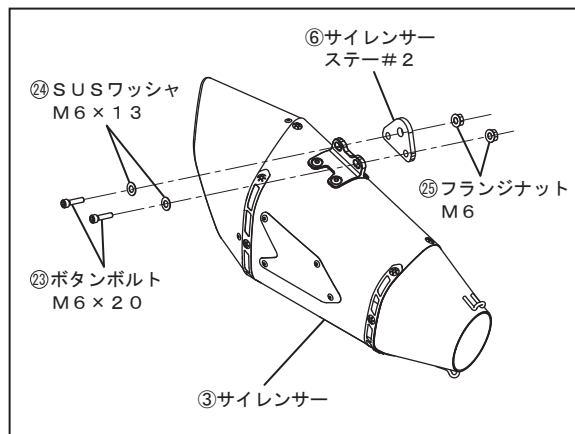


FIG. 13

- 1 4. 必要に応じて、③サイレンサーに②⑥SD#136を、②⑦
キャップボルトM6×8ロック付、②⑧キャップボルト用
サラバネM6を使用して取り付けして下さい。
(FIG. 14参照)

参考	SD#136無し	音量 109dB / 6,000rpm
	SD#136有り	音量 105dB / 6,000rpm

注意 規定トルク キャップボルトM6×8ロック付: 10Nm

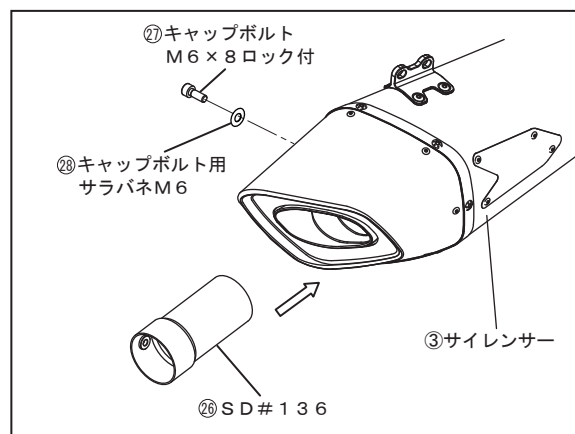


FIG. 14

- 1 5. ③サイレンサーを②テールパイプに取り付け、②⑩キャッ
プボルトM8×30、②⑬平ワッシャM8×20、②⑭平ワ
ッシャM8×26、②⑮フランジナットM8を使用して⑥
サイレンサーステー# 2を⑤サイレンサーステー# 1に
仮締めして下さい。(FIG. 15, 16参照)

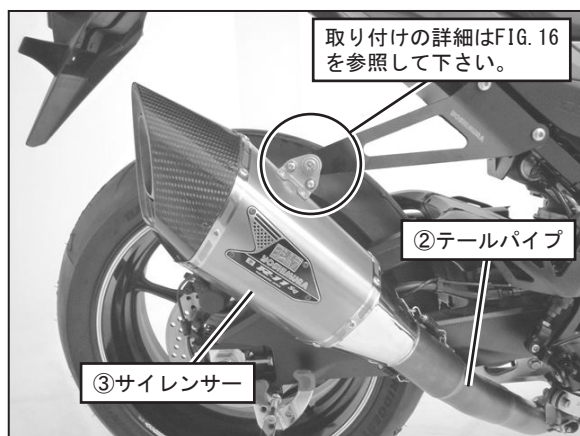


FIG. 15

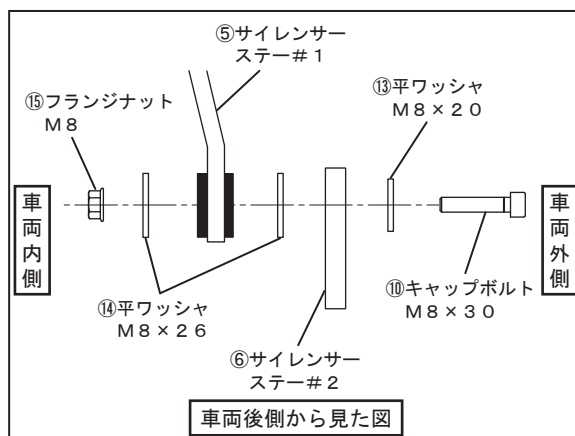


FIG. 16

- 1 6. ③サイレンサーと②テールパイプに②⑰マフラスプリン
グ(ミディアムフローティング)を取り付けて下さい。
(FIG. 17参照)

危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れないように充分注意して下さい。

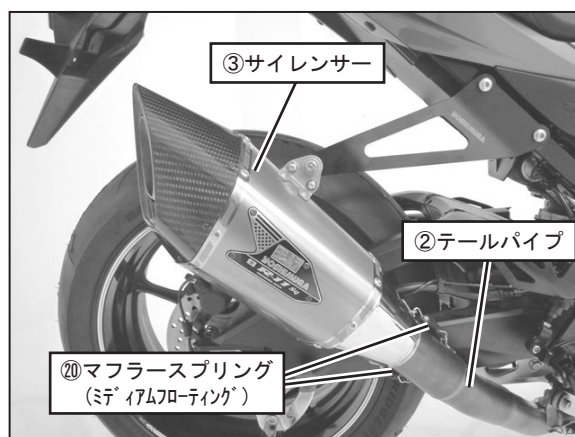


FIG. 17

17. 車両後方から見てサイレンサーの角度やマフラーと車両のクリアランスを調整し、テールパイプステー→サイレンサーステーの順に規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 18参照)

⚠注意	規定トルク	テールパイプステー	: 23 Nm
		サイレンサーステー#2 (M6)	: 10 Nm
		サイレンサーステー#2 (M8)	: 23 Nm



FIG. 18

18. ヘッダーASSYがラジエター・エンジン等と、テールパイプ・サイレンサーがフレーム・スイングアーム等と干渉していない事を確認して下さい。マフラーが干渉している場合は、締め付けたボルトを一度緩めて干渉しないよう再調整して下さい。

19. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまふことがあります。

⚠注意 ※メタルマジックカバーのサイレンサーは、パーツクリーナー等が付着すると塗装が剥がれてしまいます。中性洗剤以外でのクリーニングは絶対に行わないで下さい。

20. 暖気運転を行い、排気漏れがないことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルト・ナットの増し締めを行って下さい。

21. 取り外したカウルを元に戻して下さい。
装着後、カウルとマフラーが干渉していない事を確認して下さい。干渉、又はクリアランスが近い場合はカウルを加工し、5mm以上のクリアランスを確保できるようにして下さい。(FIG. 19参照)



FIG. 19

22. 走行中アフターファイヤーが激しく鳴る場合は、ヘッダーASSY・テールパイプのジョイント部に液体ガスケット等でシーリングを行って下さい。それでもアフターファイヤーが激しく鳴る場合は、サービスマニュアルに従いスロットルポジションセンサーが正常な位置にあるか確認し、必要に応じて調整を行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えきってから行って下さい。

⚠注意 スロットルポジションセンサーの調整は、サービスマニュアルに従い行なって下さい。
調整の手順を間違えますと、エンジン不調の原因になります。

参考 オイルフィルターを交換する際は、オイルフィルターとヘッダーASSYとのクリアランスが狭い為、側面からフィルターを掴むオイルフィルターレンチを使用して下さい。(FIG. 20参照)



FIG. 20



GSX-R1000/R R-11Sq レーシングサイクロン

ヨシムラ YOSHIMURA®

○ヨシムラレーシングキットマフラーをご使用の皆様へ

⚠ 純正 ECU をご利用になる場合の注意事項

純正 ECU をご利用になる場合は、オプションの排気バタフライキャンセルセット及び、O2 センサー延長ハーネスを別途お買い求め下さい。

対象商品

品番/品名	150-50A-A1*G*	GSX-R1000/R R-11Sq	チタンレーシングサイクロン
品番/品名	150-50A-C1*G*	GSX-R1000/R R-11Sq	ステンレスレーシングサイクロン
品番/品名	150-50A-AX*G*	GSX-R1000/R R-11SqR	チタンレーシングサイクロン
品番/品名	150-50A-CX*G*	GSX-R1000/R R-11SqR	ステンレスレーシングサイクロン

純正 ECU を使用してサーキット走行をした場合、トラクションコントロールの介入状況により、排気温度が非常に高くなってしまいます。（写真 1 参照）

その結果マフラー（特にサイレンサー）が破損してしまう恐れがありますので（写真 2 参照）、必ず以下の条件でトラクションコントロールポジションを設定してご使用下さい（写真 3 参照）。

＜トラクションコントロールポジション設定＞

- ・ギア比、タイヤ径が純正と同じ場合
→ **トラクションコントロール 1 又は "OFF"**
- ・ギア比、タイヤ径のどちらか、あるいは両方が純正と異なる場合
→ **トラクションコントロール "OFF"**

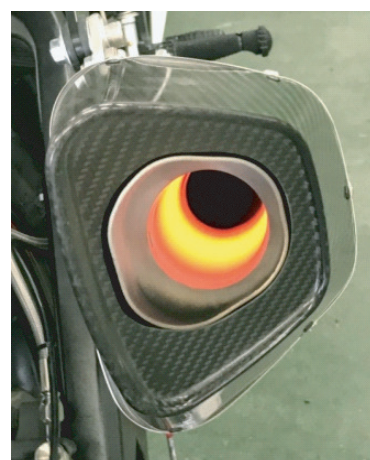


写真 1



写真 2



写真 3

⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、ただちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパン マフラーホットラインまでご連絡下さい。

⚠危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。

※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠注意

※取付け、取扱の不注意による返品は、固くお断り致します。

※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●レース車検時の注意

※この商品のサイレンサーは、組み立て時の都合上グラスウールを収縮させております。この為、装着後すぐに音量測定を行うと本来の性能を発揮できずに、車検に合格しない可能性があります。

サイレンサー内部に熱が入ることによりグラスウールが拡散し本来の消音性能を発揮するので、数十分間走行をした後音量測定を行ってください。尚、一度グラスウールが拡散すれば後はこの限りではありません。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行ない、マフラー各部の点検(変形、キズ、車体との干渉等)を行って下さい。

※サイレンサー内部のグラスウールは消耗品です。グラスウールが消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンにご連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

※サイレンサー単体の重量が、新品時(あるいはリメイク直後)よりも50g以上軽くなっている場合には、ウールが飛散して本来の消音性能を発揮できない状態になっている場合があります。定期的にサイレンサー単体の重量を測定し、リメイクすることをお勧めします。価格についてはお問い合わせ下さい。

重さ/日付	新品時	リメイク直後	リメイク直後	リメイク直後	リメイク直後
	g/ . .	g/ . .	g/ . .	g/ . .	g/ . .

●保証について

※本製品はレース用パーツのため保証対象外商品です。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

・マフラーリメイクのご案内 ▶

マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

